ホームページアドレス http://www.city.minamiboso.chiba.jp (本紙の記事はホームページでもご覧いただけます)

3月20日 祝 南房総市開市式

開市式にてテープカットをする、遠藤一郎市長職務執行者(左)と佐々木德壽教育長(右)

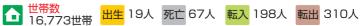


T299-2492 2006 南房総市富浦町青木28番地 平成18年 TEL 0470-33-1002 月号 FAX 0470-20-4591

人口の動き (平成18年4月1日現在)















理想郷実現に 進 邁

南房総市の発足を、 一ひと・ゆめ・みらい

月20日。日本史、千葉県史に力強く刻ま

れた記念すべき日です。

南房総市が誕生したのは、

2006年3

南房総市誕生の佳き日を祝ってくれ

煌く七つの星が集い一つの和



南房総市長職務執行者 遠藤 一郎

煌く七つ星の 和 (環)

天は、雲一つない 「日本晴れ」をもっ

教育長 佐々木德壽

温暖な気候と多彩な産物、そして風光明 が持つ個性ある地域の力を最大限に活か 媚な自然も約束しています。 でまいります。輝かしい新市の未来は る魅力の郷 め」を育み、連携して「みらい 大きな喜びとするところであります。 の皆様とともにお祝いできますことは、 し、そこに住む多才な「ひと」が、 新市は、合併した7町村が、それぞれ 南房総」を目標として歩ん 4万5千人の市民 地域で創 」を創造

りながら、 民のニーズに沿って、 では、 して生かして行きましょう。 校教育・家庭教育・社会教育の融合を図 協力し、生涯学習の考え方をもって、 かな心を煌く七つ星の和(環)の原動力と た学習機会を提供し、 くりに努めることが肝要と思います。 理想の郷を創造するのは人の力であ 南房総市民の方々の豊かな創造力と曹 地域の力でもあります。教育の分野 乳幼児から高齢者に至る全ての市 知・徳・体のバランスのとれ 子育て支援担当と 人づくり、

お互いの立場を認め合う協調と互譲の精

の様々な困難を乗り越えてきた知恵と、 遇することもありましょうが、合併まで んできた道の違いから、幾多の困難に遭

発足当初は、その歴史や伝統、また歩

うではありませんか。

て理想の郷の実現に向かって歩み続け上

した信念に「自信」を加え、力を合わせ

南房総市民は、和やかに煌く環を生成

う、これにあたってまいります。

新市、南房総市にご期待ください。

民の皆様が合併の実りを体感できるよ

す。さらに、渾身の力を振り絞って、

職員の連帯感は強く、

スタートは順調で

上げてきた先人への報恩であります。 ません。それが、それぞれの地域を築き 理想郷実現のために邁進しなければなり 神によって、新市民が等しく望んでいる

新市の実り多い未来に向かって、

晴天の下、3月20日(月)、新しい幕開けを迎え 南房総市がスタートし、市役所も本庁と6つの支 所で業務を開始しました。

午前10時、本庁舎玄関前において開市・開庁式 が行われ、職員約180人が見守るなか、遠藤-長職務執行者の挨拶の後に祝電披露、佐々木徳壽 教育長との開庁のテープカットが行われました。

午前11時15分、富山、三芳、白浜、千倉、丸 和田の支所においても開庁式が行われ、支所



挨拶の中で互いに握手をしあう職員



遠藤市長職務執行者の挨拶

長の挨拶が行われました。

開庁後の市役所には市民が、終日訪れました。

新市の面積は、230.22km2で県内56市町村中 5番目、人口は、4万4千747人(平成17年10月 国勢調査速報値)で33番目となります。

今後の予定として、4月23日(日)に南房総市 ・南房総市議会議員選挙、5月3日(水)に南房 総市農業委員会委員選挙が予定されています。

南房総市の将来像

囲まれた温暖な地域です。 位置し、 南房総市は、 房総丘陵を抱え三方を海に 房総半島の最南端に

という地理的条件のもと、 咲き乱れる花々など、 してきました 色ある資源を活かした観光業も発展 てきたこの地域は、 る黒潮の影響を受けた自然の資源 などの歴史的資源を有しています。 豊かで穏やかな自然と四季折 また、農業・漁業を中心に発展し 古代から近代に至る遺跡や社寺 首都圏から近い 沖合いに流れ 地域の特 々に

この 営が立ち行かなくなっています。 齢化の進行などの地域課題が顕在化 重要です 良さを見つめ直し、 流出などによる人口の減少、少子高 業・観光業の低迷、 余暇ニー 変化に対応させつつ、 したまちづくりを創造することが このため、地域住民一人ひとりが、 今までの方策のままでは地域経 地に誇りと愛着を持ち、 ズの変化による農業・漁 若年層の地域外 これを社会環境 最大限に活 地域の

●やすらぎの実現

『ひと・ゆめ・みらい

(1) 地域力の発揮

心豊かに安心して暮らせる

まちづくり

らい に合わせ、 7町村それぞれが持つ地域の力 れのゆめ くりの根幹である『人』が、 自 そこで、 然・産業・歴史など)をひとつ (将来) を構築していくため (願い)を大切に育み、 新市においては、 新市全体で 「魅力の郷 それぞ 地域づ 入 み

て、 新市の将来像を

南房総」

『ひと・ゆめ・みらい 地域で創る魅力の郷 南房総

次の 「やすらぎの (3つの基本理念を定めます。 \mathcal{O} 新 基本的 とおり 市 \dot{o} 将 実現 来像を実現するた な考え方として、 地 域 「協働と参画 力 Ø 発 揮

め

かしながら、

産業構造の転換や

地域力の発揮

地域の資源を活力にする まちづくり

協働と参画

ともに考え行動する まちづくり

> ポー 健・医療・福祉」 つの柱により、 通・情報通信」「生活・自然」 本理念のもとで、 を定めます ツ」「行財政・ 市の将来像を実現するため、 新市建設の基本方針 「産業・雇用 「教育・文化・ス 市民参加 O) 保 交 基 6

を創ろうという意思を込め

とします。 地域で創る魅力の郷 南房総 【新市の基本理念】 (2) やすらぎの実現 (3) 協働と参画 (3) 市民が「住」みやすいまち(生活・自然) (4) 市民に「優」しいまち(保健・医療・福祉) (5) 市民が「輝」くまち(教育・文化・スポーツ)

【新市建設の基本方針】

(6) 市民が「創」るまち (行財政・市民参加)

市民に 優 しいまち

(保健・医療・福祉)

るまちづくりを進めます 市民誰もが生涯、安心して暮ら

市民が「輝」くまち

|教育・文化・スポーツ|

スポーツ活動を楽しめるまちづくり 子供から高齢者まで、 知的活動と

(1) 市民に「活」力をあたえるまち(産業・雇用) (2) 市民が「交」流するまち(交通・情報通信)

市民が「創」 るまち

行財政・市民参加

を進めます

ちづくりを進めます 市民と行政の協働による新 L £ \$ ま

●市民に「活」力をあたえるまち

(産業・雇用)

雇用の場を創出するまちづくりを進 地域に活力を生む産業と、 多様な

●市民が「交」流するまち

めます。

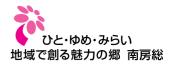
(交通・情報通信

実し、 活発化を促すまちづくりを進めます。 交通・情報通信ネッ 市民の観光交流や経済活動 卜 ワークを充

市民が「住」みやすいまち

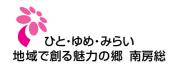
めます。 を送ることのできるまちづくりを進 快適・安全で潤い (生活・自然) のある市民生活

2006年 4 月号

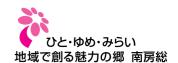


本庁の業務

部	課名	係名	主 な 業 務	場所
ПD	<u> </u>	企画政策係	過疎·辺地計画、NPO、構造改革特区、男女共同参画	<i>70</i> 0 F/I
企			半島振興法、総合保養地域整備法、国際交流、姉妹・友好都市、コミュニティ事業、	本
	企画政策課	地域調整係	地域審議会、定住促進	万
	33 - 1001	地域交通係	生活路線・市営路線バス、鉄道	本庁別館2階
		統計係	統計	階
画		総合計画班	施策の企画立案・総合調整、総合計画	
	秘書広報課	秘 書 係	秘書、儀式、表彰	本庁
	33 - 1002	市民相談係	市民相談、公聴、請願・陳情・要望及び苦情の調整・処理、市政懇談会] [
		広 報 係	広報、市勢要覧	- 1
部	情報推進課	情報政策係	情報化計画、地域情報化施策、行政情報化、電子自治体	本庁 別館 1 階
- Dh	33 - 1003	情報管理係	情報システム管理、情報セキュリティ	別郎 階
		管理調整係	部内·支所事務調整、行政連絡員、認可地縁団体、交通災害共済	_
総	総務課	文書法規係	文書管理、訴訟、行政手続条例、情報公開、個人情報保護	1
	33 - 1021	給与厚生係	職員給与、特別職報酬、公務災害	本
	/==t-7b+#+#\#-	人事研修係	人事、職員の任免・分限・懲戒、職員配置、職員任用試験、職員研修	「「」
	行政改革推進室	行政改革推進係	事務改善、行政改革	館
務	33 - 1031	財政係	 予算編成、地方交付税、財政運営、地方債	本庁別館2階
195	財政課	財 政 係 管 財 係	プ昇編成、地方文刊代、射政連名、地方領 財産取得・処分・管理、庁舎管理、公用車管理、支所・施設管理、市民バス管理	- '-
	33 - 1022	事業監理係	財産取得・処力・管理、庁舎管理、公用単管理、文所・施設管理、印氏八人管理 指名業者選定審査会、入札参加資格、入札・契約事務、工事検査	-
	 税務課	市民税係	個人市民税、法人市民税、国民健康保険税、諸税	
	33 - 1023	資産税係	土地、家屋、償却資産、交付金	奎
部	収納課	管理係	市税収入管理	本 一 一 一 一 階
	33 - 1024	収納係	市税徴収、滞納処分	肾
	社会福祉課	社会福祉係	社会福祉、障害者福祉	
保	36 - 1151	保護係	生活保護、行旅死病人	 =
健	健康増進課	保健係	保健衛生、保健指導、妊婦・乳幼児、検診、訪問指導、栄養、献血、訪問看護	芳芳
福	36 - 1152	予 防 係	感染症予防、予防接種、歯科保健、健康教育・相談、機能訓練、精神保健	分 保 庁 健
祉	子育て支援課	子育て支援係	子育て支援、児童手当、児童扶養手当、乳幼児医療助成、児童遊園、児童虐待	三芳分庁舎1
部	36 - 1153	保育推進係	学童保育、保育所	・モ
福	古松老行が開	介護保険係	介護保険事業計画、資格、給付、保険料、認定審査、事業所指定(指導・監査)	2 と 階タ
祉	高齢者福祉課 36 - 1154	高齢者福祉係	高齢者福祉計画、高齢者団体、高齢者福祉施設管理運営、在宅福祉、在宅介護支援セ	
事	30-1104	同即日佃仙床	ンター	
務	富浦地域福祉課	保 健 係	保健指導、健康教育·健康相談、予防接種、検診、精神保健、栄養指導	│ 本庁1階
所	33 - 1041	福祉係	介護保険、福祉全般に係る各種申請受付及び相談	777 170
	富山国保病院		 内科、外科、呼吸器科、消化器科、肛門科、整形外科、リハビリテーション科	病
	58 - 0301			院
生	市民課	管理調整係	部内·支所事務調整、人権啓発	_
土	33 - 1051	戸籍住民係	戸籍、住民基本台帳、外国人登録、印鑑登録	_
活	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	保険年金係	国民年金、国民健康保険、老人保健	4
т===	消防防災課	消防係	消防団員管理運営、消防施設・機械管理、火災出動	庁
環	33 - 1052	生活安全係	地域防災計画、防災行政無線、防犯対策、交通安全、防犯灯	1
境	 環境保全課	環境企画係	環境基本計画、環境審議会 自然環境保全、不法投棄防止、一般廃棄物の処理・清掃、狂犬病予防、墓地・埋葬、	ner.
部	33 - 1053	環境対策係	白然環境体主、作法技業的正、 放洗業物の処理・肩冊、狂犬納予防、塞地・埋葬、 公害防止、浄化槽	階
_ <u>⊒</u> D	00 1000	施設管理係	環境施設管理運営、一般廃棄物の処理・計画、一般廃棄物の収集・運搬・処分許可	-
			農業振興地域整備計画、農政審議会、農地保全・利用集積、農業後継者育成、農業資	
#		管理調整係	金融資・利子補給	
農			農業団体、農業振興、畜産振興、農業経営、家畜保健衛生、家畜環境対策、農業経営	
林	農林振興課	農業振興係	改善施策、水田農業構造改革対策 、園芸振興	
1-1-	33 - 1071	林業振興係	林業団体、緑化推進、森林保護・林業普及、林道、治山・地すべり防止	- 庁
水			土地改良団体、土地改良事業、農道・農業用排水施設、農地・農業用施設災害、農業	別
		農村整備係	土木	館
産		有害鳥獣対策係		1
† 17	水産振興課		水産振興、水産関係団体、漁業近代化資金利子補給、漁業後継者育成、漁港区域・海	· 階
部	33 - 1072	水産振興係	岸保全区域管理	PÉ
		漁港整備係	漁港建設、施設維持管理、漁港施設災害	



部	課名	係名	主な業務	場所				
商	- 本丁組业:■	管理調整係	部内·支所事務調整、労働対策	*				
商 商工観光課 商工振興係		商工振興係	商工振興、中小企業等利子補給、街灯維持管理、企業誘致、消費者保護					
観 33 - 109		観光振興係	観光振興、観光客誘致・観光思想普及、施設管理、観光振興計画、観光イベント	本庁別館				
光交流事業課		企画振興係	第三セクター、道の駅施設管理運営、自然の宿「くすの木」管理運営、地域連携事業	门 階				
部	33 - 1092	地域交流係	都市交流・文化推進事業、フィルムコミッション					
		計 画 係	道路・河川・橋梁の建設計画					
建	建設課		道路・橋梁新設改良、河川、急傾斜地崩壊対策事業、地すべり対策事業、公共土木施	1				
	33 - 1101	土 木 係	設災害復旧事業	🏝				
		維持係	道路・河川・橋梁維持	別				
設		管理調整係	部内·支所事務調整、公共用財産管理、道路認定、屋外広告物	本庁別館2階				
	管理課	建築住宅係	公営住宅管理、建築基準法、開発行為、都市計画	階				
	33 - 1102	用地係	用地取得、用地登記事務	†				
部	 国土調査課							
Dh	46 - 2926	国土調査係	国土調査管理業務					
			 水道事業総合調整、公金等収納・保管・運用、会計事務、企業債・借入金	丸丸				
水	業務課	庶務係		一浜道				
	46 - 2953	 業務係	 水道料金調定、使用水量審査・認定、料金・手数料、開閉栓、水道メーター交換	2				
道		* 37 IN	取水・浄水・送配水総合調整・運転業務、ダム・取水・浄水機械設備・電気設備保守	丸山分庁舎1時(丸山支所1階)				
닏	管理課	浄水場管理係	では、]階				
717	官珪誌 46 - 2954		官柱、水貝官柱 拡張工事、老朽水道施設改良計画・工事、工事監督・指導、指定工事店登録・許可、					
部	40 - 2904	建設配給水係	拡張工事、もれが追加設以及計画・工事、工事監督・指导、指定工事后豆球・計り、 給水装置新規加入受付・承認、配水・給水施設保守管理					
		出納係	おいる自利な加入支付・予認、能力・指力が設保す程度 出納事務、物品の出納・保管					
	会計課			上本庁 1階				
	33 - 1141	審査係	伝票審査、課の庶務	I PH				
教	教育総務課	庶務係	教育委員会会議・請願、儀式・表彰、教育委員会所掌予算、教育財産管理	-				
37	46 - 2961	施設係	小・中学校・幼稚園設置・廃止・管理・維持補修	1				
育	学校教育課	学務係	児童生徒の就学・管理、学級編制・管理運営、通学区域設定・変更、学校保健・安全、	丸丸				
=	46 - 2962		学校勤務職員・児童生徒の健康診断、学校体育施設管理運営	安 実				
委		指導係	指導方針・重点施策策定、学校勤務職員の研修、教育課程・学習指導・生徒指導	(山分庁舎2階)				
員	生涯学習課	社会教育係	生涯学習振興、社会教育振興、国際交流推進、青少年相談員・青少年健全育成					
	46 - 2963	文化財係						
会	スポーツ課	スポーツ係	社会体育振興・奨励、社会体育関係団体育成					
	46 - 2964	体育施設係	社会体育施設・学校体育施設開放					
議	会事務局	 庶 務 係	議員報酬、議長会、議会広報					
	33 - 1111							
	+ + 25 D	議事係	本会議、委員会その他諸会議、請願・陳情	本庁2階				
	査事務局	監査係	監査検査·審査	階				
	33 - 1121							
	举管理委員会事務局		選挙事務	本庁 別館2階				
	33 - 1131							
	***	農政係	法人化・農業経営合理化、農業生産・農業経営・農民生活調査・研究、農業委員会委	本庁別館				
	業委員会事務局		員選挙人名簿、総会・農政部会・運営委員会・農業者年金	別				
	33 - 1081	農地係	農地等の利用関係調整・自作農創設維持、交換分合、農地利用集積・利用促進、農地					
			基本台帳、農地部会	階				
		総務振興係	地域振興、地域審議会、行政連絡員、教育関係窓口					
抽	域 総 務 課	 市民生活係	行政相談・法律相談、窓口案内・受付、戸籍・住民基本台帳、外国人登録、印鑑登録、					
	אלען בכני יטיוי על		国民年金、国民健康保険、老人保健、税務相談、税務証明の発行					
		出納係	税などの収納	各				
		保 健 係	保健指導、健康教育·健康相談、母子保健、予防接種、検診、精神保健、栄養指導					
+++1	域 福 祉 課	福祉係	社会福祉、子育て支援、高齢者福祉、介護保険に係る各種申請受付及び相談	支				
끄	以 佃 瓜 林	理 培 塚	自然環境保全、不法投棄防止、一般廃棄物処理、狂犬病予防、墓地・埋葬、公害防止、	^又				
		環 境 係 	净化槽					
		単サル帝原	農林業振興、農産物処理加工施設、農地保全・利用集積、農業後継者育成、畜産振興、農道・農業	所				
+14-	## ## ## ##	農林水産係	用排水施設、林業振興、林道整備管理、水産振興、漁港整備·維持管理	'''				
坦	域 事 業 課	商工観光係	商工振興、街路灯維持管理、観光振興、観光客誘致・観光思想普及、観光イベント	1				
		建設係	道路・河川・橋梁・排水路等管理]				
			1					





富山支所

〒299-2292 南房総市久枝257番地 FAX57-3002

地域総務課 ____ 総務 TEL57-2511

総務振興係・市民生活係・出納係

地域事業課 TEL57-2512

農林水産係・商工観光係・建設係

地域福祉課 TEL57-2513

保健係・福祉係・環境係



三芳支所

〒294-8701 南房総市谷向100番地 FAX36-2571

地域総務課 TEL36-2111

総務振興係・市民生活係・環境係・出納係

地域事業課 TEL36-2112

農林水産係・商工観光係・建設係



白浜支所

〒295-0192 南房総市白浜町白浜3467番地1 FAX38-2591

_ 地域総務課 TEL38-3111

総務振興係・市民生活係・出納係

地域事業課 TEL38-3112

農林水産係・商工観光係・建設係

白浜保健福祉センター「はまゆう」

地域福祉課 TEL30-5120

保健係・福祉係・環境係



千倉支所

〒295-8601 南房総市千倉町瀬戸2294番地 FAX40-1013

地域総務課 TEL44-1111

総務振興係・市民生活係・出納係

地域事業課 TEL44-1112

農林水産係・商工観光係・建設係

地域福祉課 TEL44-1113

福祉係・環境係

千倉保健センター

地域福祉課 TEL44-5611

保健係



丸山支所

〒299-2592 南房総市岩糸2489番地 FAX46-3991

地域総務課 TEL46-3111

総務振興係・市民生活係・出納係

地域事業課 TEL46-3112

農林水産係・商工観光係・建設係

丸山保健福祉センター 「ほのぼの」

地域福祉課 TEL40-5111

保健係・福祉係・環境係



和田支所

〒299-2792 南房総市和田町仁我浦243番地 FAX47-4181

_ 地域総務課 TEL47-3111

総務振興係・市民生活係・出納係

地域事業課 TEL47-3112

農林水産係・商工観光係・建設係

和田地域福祉センター「やすらぎ」

_ 地域福祉課 TEL47-5390

保健係・福祉係・環境係

地域 の歴史

代に入り、 年に再び安房国として独立しました。 れ上総国 を築城して安房国統治の拠点としま 代を繰り返してきましたが、 8年に上総国から分かれ安房国とな っました。その後、 かつては多数の荘国が存在してお 本市が位置する安房地 これらは中世末まで統治者の 一を果たし、 「へ合併されましたが757 15世紀中頃に里見氏が安 戦 国末期に館山 旦は国を廃さ 域は、 戦国時 城 交

狭郡 曲

府 として分割統治されました。 ŋ 地 近代に入り、 による全国支配 は旗本領、 1614年に改易され、 天領、 明治11年の郡区 品体制 小大名の 0 確立によ 以降こ 領 町

年には 郡の前身となる 成法施行により郡制を施行、 れました。 | 民情風俗に大差がない| [から、 の4郡を合併して、 「交通の便が相互にあり、 安房郡、 「安房郡」 平郡、 朝夷郡、 現在の安房 という が形成さ 明治 長 理 か $\ddot{30}$

村合併を経て、 そして昭和30年前後に相次い 現在の姿となりまし だ町

うかし、

その後里見氏は、

江

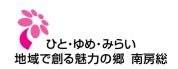
戸

幕

た

昭和の大合併以前の町村界と 現在の町村界 平群村 丸 村 原村 滝田村 富浦町 八束村 , 稲都村 国府村 南三原村 豊田村 千歳村 健田村 千倉町 七浦村 白浜町 長尾村 市町村界(2003年4月1日現在) 1953 (昭和28) 年4月30日現在 の町村界 資料:千葉県史「千葉県の歴史 別編 地誌1」





赤十字奉仕団員募集

字活動の 担っています。 集まったボランテ な諸活動を実践しようとする人々が 赤十字奉仕団は、 推進役として大きな役割を イ 赤十字の人道的 ア 組織で、 赤十

主な活動は、 次のとおりです。

社員増強・ 社資募集運動の推進

活動

0円以上寄付をしてくれる人です。 社員とは、 赤十字活動に毎年50

で、 があります 社資とは赤十字活動資金のこと 般社資と法人社資の2種 類

金で、 からの寄付金のことです。 般社資とは、 法人社資とは、 個 人からの 事業所など 寄付

災害救護に関する活動

活用品や毛布などの救援物 発生時には、 練などを行ったり、 災害に備えて、 したりする活動です。 被災された方々に牛 非常炊き出 大規模な災害 資を配 訓

3 献血推進に関する活動

救急法などの普及に関す る活動

動を行います。 各地区の防災訓練などでの Ρ

救急法の講習会に参加すること

が できます。

5

などを行います。 施設などでのボランティ 'ア活: 動

ておりますので、 を募集します。 南房総市では、 奉仕 寸

は、 および法人社資募集活動などを行 法などの講習会、 てもらいます。 奉仕団員になられた人には、 4月末までにご連絡ください ご協力いただける人 防災訓練への 参加 救急

問 い合わせ

南 TEL 房総 市 社会福祉 課 社会福祉

平成17年度赤十字活動のあらまし 献血推進に 11.850千円 支部が直接参加する海外救援事業に 災害救護設備整備の ための積み立てに 10.111千円 国内災害救護及び 救急医療機器の整備に 164,014千円 62.000千円 奉仕団活動及び 青少年の健全育成に 67,840千円 平成17年度 活動資金 809,002千円 本社事業 86,250千円 業務管理運営に 146,146千円 社員増強・社資募集運動 及び赤十字思想普及に 84,630千円 地域(市町村)の 救急法・介護法講習会の 赤十字活動に 103,340千円 普及と社会福祉活動に72,821千円 資料:日本赤十字社

社会福祉などにおける活動

ご協力くださる人 員が不足し

0)

5 月 2 日

5 月 10 日 水 午前 10 時 か 5

5 月 **15** H 月 午前 10 時 か 5

5 月 **26** H 金 午後7時 から

5 月 **29** 日 月 午前 10時から

* す うべて、 所 とみうら元気倶楽部健 2 時間程度の講習です。 康増

進 室

対象者 シ 持ち物等 機器の使用方法、 内 ユーズ・ 高校生以 健 ・タオル 運動の 康増進室・ 登 できる服装・ Ĺ 録証の $\widehat{16}$ ŀ 歳以 レーニン 発 £ 室内 グ

ニコニコ貯筋で健 康づくり

機器8台を設置しています。 とからだの健康を保持増進し、 機器6台・ イクなど有酸素運動の で生きがい 市では、 とみうら元気倶楽部に 市民の一人ひとりが、 筋力向上の のある生活を送るため ŀ 1 レ 1 1 工 ニン ニング ア 豊 口 グ 心 バ か

> です 週 1

ので、

Н 1

次の日程で講習会を開催します。 習会を受講し登録証を発行され み使用可能となりますが、 このトレ ーニング機器は、 火 午後1時30分か 5月 市 た人 0

は

講

問い合わせ

とみうら元気倶楽部

ださい。

か、 0

元気倶

楽部

館

内

の掲

示を閲覧く

25日以降に

お問い合わせくださる

TEL 33

 $\stackrel{|}{3}$

5

山労働基準監督署の統合

働基準監督署に統合されました より3月30日で廃止され、 館 山労働基準監督署は再編整備 木更津 労

問い合わせ

裁判所の管轄区

ません。 併 前 合併後の裁判所の管轄区域 の管轄区域と同じで変更はあ は、 合 1)

地方・ 家庭裁 判所 0) 支部 館 Щ

簡易裁判 所 館

い合わせ

-葉地方 家庭裁判

TEL 0 43 $\frac{1}{2}$ Ó 6

は、

5 月 1 日

月

午前 9.

時から

電

話受付を開始し、

各回それぞれ

定員

講習会の申込み方法

5

月

0

講習会

事前受付はいたしません になり次第締 月以降につきましても ・スで講習会を開催予定 程 0 照会は開催月前月 がめ切り ŋ

また、

口

0)

~° 6 ます。

(10名)

2006年 4 月号

白浜地区

場 所 時 間 乙浜集落センター前 9時00分 9時20分 9時25分 9時45分 第1分団詰所前 10時25分 安房農協白浜支店 9時55分 自然休養村管理センター 11時00分 10時30分 青木経営管理所 11時25分 11時05分 野島公園ステージ西側 12時10分 11時30分 安房農協東横渚出荷所 13時40分 13時10分 川下会館 14時20分 13時50分 本郷コミュニティーセンター 14時50分 14時30分 砂取事務所 15時20分 15時00分 根本公民館 16時00分 15時30分

千倉地区

	場所	時		間
	大貫コミュニティ集会所	9時00分	~	9時20分
	川戸青年館	9時30分	~	9時45分
	宇田記念碑前	9時55分	\sim	10時05分
4	長久橋付近ゴミステーション前(長井)	10時15分	~	10時35分
月20	川合地蔵院駐車場	10時45分	\sim	10時55分
肾	房州ちくら漁協白子瀬戸支所前	11時05分	\sim	11時25分
_	矢原旧瀬戸漁協跡地	11時35分	\sim	11時50分
	下瀬戸農業集落センター	13時00分	\sim	13時20分
	上瀬戸高橋竹材店資材置き場	13時30分	\sim	13時50分
	南房総市役所千倉支所前	14時00分	~	14時30分
	大丸駐車場	9時00分	~	9時20分
	高家神社駐車場	9時30分	~	9時55分
	南千倉海水浴場駐車場(元助商店前)	10時05分	\sim	10時30分
	千倉公民館駐車場	10時40分	~	10時50分
4	平舘コミュニティ集会所前	11時00分	~	11時20分
月24	忽戸コミュニティ集会所前	11時30分	~	11時50分
	川口天草倉庫前	13時00分	~	13時10分
_	平磯コミュニティ集会所前	13時20分	~	13時35分
	房州ちくら漁協南部漁村センター	13時45分	~	14時05分
	大川防火用水前	14時15分	~	14時25分
	白間津コミュニティ集会所	14時35分	~	14時50分

丸山地区

	場所	時		間
	旧安房農協千歳支店	9時30分	~	10時30分
4	加茂集荷所	10時45分	~	11時15分
4 月 25	沓見青年館	11時30分	~	11時50分
百	小戸青年館	13時15分	~	13時40分
	南房総市役所丸山支所 14時00分		~	14時30分
	大井青年館	9時30分	~	10時10分
ا ا	犬切集会所	10時25分	10時25分 ~	
4 月 26	鯨岡集会所	10時50分	\sim	11時10分
26	宮下中森集会所	11時20分 ~		11時50分
日	丸山保健福祉センター「ほのぼの」	13時15分	\sim	13時50分
	市場集会所	14時00分	~	14時30分

4月の行政相談日

日程	時間	会場		
4月19日 (水)	13時30分~ 16時00分	白 浜 保 健 福 祉 センター 「はまゆう2階」		
4月20日 (木)	10時00分~ 15時00分	丸山保健福祉センター		
4月21日 (金)	10時00分~ 15時00分	三 芳 支 所 相 談 室		
4月26日 (水)	13時30分~ 16時00分	和 田 地 域 福 祉 セ ン タ ー 「やすらぎ」		

生後3カ月以上の犬の登録と狂犬 狂犬病予防注射

ず登録・注射を受けさせましょう。 られています。飼い主の皆さんは必 射料がかかります。 の際には次のとおり手数料および注 記日程表のとおり実施します。 病予防注射の接種は法律で義務付け 平成18年度狂犬病予防注射を、左 注射

TEL

33

《既に登録済の犬》

《初めて登録する犬》

- ●登録料 3000円
- 注射料 2 8 0 0 円

域福祉課に問い合わせください。 南房総市環境保全課 不明な点は環境保全課または各地



3

2 粗大ごみ処理施設の設置、 連絡調整に関すること

および運営に関すること 管理および 管理

火葬場施設の設置、

注射済票 5 5 0 円

市町村圏事務組合

私たちの市は、本年度に8億8千7 業務内容は、次のとおりです。 百4万1千円の負担金を支払います。 同組合は、

6.

福祉施設建設の一部助成に関す び統一採用試験に関すること

7.

ること

地域救急医療に関すること

画の策定およびその実施のため 市町村圏の振興整備に関する計

1.

閲覧場所 域総務課 南房総市役所 企画部企画政策課および各支所地 本庁別館2階

安房郡市広域

平成18年度予算書が閲覧できます。 安房の3市1町で構成し、

5

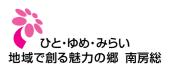
関係市町の職員の共同研修およ

運営に関すること

消防事務 および救急業務に関すること (消防団事務を除く。)

4

2006年 4 月号



この選挙は、 新しい 「南房総市 ◆投票日 4 月 **23** 日

4月23日(日)は南房総市長・南房総市議会議員選挙の投票日です

ちづくりに力を注いでくれる代表者 を直接選ぶ大切な選挙です。 代表として、 明るく、 住みよいま

思で棄権することなく投票しましょ 票の重さを自覚して、自らの意

○市長選挙 選挙の区域は南房総市全域です。

○市議会議員選挙

▼選挙の区域

市議会議員選挙は、 旧町村ごと

に7選挙区による選挙です

○住所要件

定数(人)

3

3

3

3

7

3

3

* 出した人は投票できません。 期日前投票)するまでに市外に転 ただし、投票 (当日投票または

* 投票所で投票してください。 住所が変わった人は、 前住所地 \mathcal{O}

***投票所入場券**

投票所入場券は、

選挙人名簿に登

選挙区

富浦選挙区

富山選挙区

三芳選挙区

白浜選挙区

千倉選挙区

丸山選挙区

和田選挙区

区

旧富浦町の区域

旧富山町の区域

旧三芳村の区域

旧白浜町の区域

旧千倉町の区域

旧丸山町の区域

旧和田町の区域

域

<u>目</u>

>告示日 (立候補届出日)

>投票時間

4 月 16 日

(日

***投票場所** 午前7時から午後8時まで

旧町村の投票所と同じ (11頁

▼投票できる人

挙人名簿に登録されている人 次の要件を満たし、 南房総市の選

○年齢要件

た者 昭和61年4月24日以前に生まれ

村内に住所を有し、引き続き3カ 月以上南房総市に住所を有する者 平成18年1月15日までに旧7町

平成18年3月20日以後に市内で

代理投票と点字投票

委員会にお問い合わせください。

手続きなどについては市選挙管理

は、 自分で投票用紙に記入できない人 投票所で投票管理者に申し出

で郵送します。 載されている人に、

きは、 があれば投票できます。 それぞれ、忘れずにお持ちください。 ときは、 券が付いています。投票に出かける し出てください。 もし、 葉書には同一世帯3人までの入場 投票所の受付係にその旨を申 届かないときや無くしたと 自分の入場券を切り取って 選挙人名簿に登録

*指定病院などの不在者投票

らかじめ施設などの管理者に申し出 ことができます。投票する場合はあ てください。 している方は、その施設で投票する 指定病院などの施設に入院・入所

◆郵便などによる不在者投票

書」の交付申請が必要です。 選挙管理委員会へ「郵便等投票証明 投票をするためには、あらかじめ市 ができます。郵便などによる不在者 便などによる不在者投票をすること 身体に一定の障害がある人は、 郵

投票できる人の住所地 期日前投票所 旧富浦町の区域 南房総市役所別館 1 階ロビー 旧富山町の区域 南房総市役所富山支所 1 階食堂 旧三芳村の区域 南房総市役所三芳支所大会議室 旧白浜町の区域 南房総市役所白浜支所 1 階防災室 旧千倉町の区域 南房総市役所千倉支所 2階 旧丸山町の区域 南房総市役所丸山支所 1 階ロビー 旧和田町の区域 和田コミュニティセンター 1 階ロビー

世帯ごとに葉書

それぞれ異なります。 票ができます 日に投票所に行けない人は期日前投 (平成18年3月20日現在) 期日前投票場所はお住まいの住 仕事、旅行、 冠婚葬祭などで投票 によって

4 月 17 日

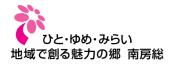
○期間

○時間 午前8時30分から午後8時 月 から4月22日 主

○場所 (左表のとおり) 票所の受付係に申し出てください。 係員の代筆で投票ができ 投

ます。 また、点字で投票される人は、

ください。



問い合せ先 TEL 南房総市選挙管理委員会 33 | 1 1 3 1

※詳しくは、回覧でお知らせし ます。

▽第4(旧丸山町・旧和田町)

▽第3 (旧白浜町・旧千倉町) ▽第2(旧富山町)

▽第1(旧富浦町・旧三芳村)

午前7時から午後6時

◆告示日(立候補届出日) 5月3日 (水) 4月26日 (水)

南房総市農業委員会委員選挙

午後10時から

○時間 ○場所 南房総市富浦体育館

利用ください。 共施設に選挙公報を置きますのでご みで各家庭に配布します。 た市長選挙の選挙公報を新聞折り込 **▼開票(即日開票)** 新聞を購読されていない人は、公

◆選挙公報(市長選挙)

候補者の氏名・政見などを掲載し

南房総市長	選挙区	投票区	投票所	選挙区	投票区	投票所
画	富浦選挙区	1	南無谷枇杷倉庫		28	大貫コミュニティ集会所
長 •		2	原岡区公会堂		29	南房総市立健田小学校屋内運動場
		3	多田良公会堂	干	30	寺庭地区コミュニティ集会所
議		4	南房総市立八束小学校体育館	倉選挙区	31	千倉公民館
会		5	大津公会堂		32	平舘コミュニティ集会所
議		6	豊岡青年館		33	忽戸コミュニティ集会所
市議会議員選		7	久枝青年館		34	平磯コミュニティ集会所
CALL AND	富	8	南房総市立岩井小学校屋内運動場		35	大川コミュニティ集会所
季投票所	山	9	漁業協同組合事務所		36	白子東浜・川端コミュニティ集会所
投	選	10	合戸青年館	丸山選挙区	37	大井青年館
部	学 区	11	二部中央青年館		38	宮下集会所
771		12	富山コミュニティセンター		39	丸山保健福祉センター
		13	平久里下青年館		40	丸本郷集会所
	三芳選挙区	14	滝田公民館		41	小戸青年館
		15	三芳農村環境改善センター		42	南房総市役所丸山支所
		16	三芳花束加工施設研修室		43	沓見青年館
		17	増間コミュニティセンター		44	加茂集荷所
		18	乙浜集落センター		45	千歳ミーティングハウス
		19	塩浦構造改善センター	和田選挙区	46	柴区集会所
		20	原経営管理所		47	和田コミュニティセンター
	白浜選挙区	21	南房総市役所白浜支所		48	和田町漁業協同館
		22	青木経営管理所		49	真浦区集会所
		23	島崎公会堂		50	北三原多目的研修集会施設
		24	西横渚区集会所		51	自然の宿くすの木多目的ホール
		25	川下会館		52	南三原公民館
		26	砂取事務所		53	南房総市立和田中学校被服室
		27	根本集会場			

生活環境の安全確保

総市、 ました。 の集配7郵便局の局長が出席し、 房総市役所で 3 月 27 日 【関する覚書_ 南房総市内集配郵便局間の協 (月)、市関係者と市内 「災害時における南房 ほか4件を締結し 南

7



覚書を取り交わす、遠藤市長職務執行者(右) 市内の集配7郵便局代表 大坂富浦郵便局長(左)

南房総市誕生記念

+

カウントダウン・スタンプラリー 結果発表

われ、 村を巡る、 プラリー 崱 人が当選しました。 `村合併協議会主催のエリア7 南房総市 4 32通の応募者の中から次 0 抽選が3月27日 カウントダウン・スタン 誕生を記念し、 月 安房 崱

 \mathcal{O}

票した人の中から、 たのしみ賞としてロ 気投票では、 また、 カウントダウンボー 丸山町が1位となり投 抽選で10人にお ズマリ F 0)

²贈られました。 -商品

お

す す

(7000円相)

(名古屋市

長飯

真由美

(あきる野市) (千葉市)

南房総フラワーマー

ました。 をテーマに、 が3月4日と5日の両日、 歩こう! 南房総フラワー 花と海と太陽と! 開催され マー チ

1 好天の ゴ 1 ルに 下 地元の小中学生をはじ 千倉中学校をスタ 1

で町民

月

18 日

を開催し



2.

通学路などにおける不審者に

関

する情報提供に関する覚書

おたの

しみ

(1000円相当)

通学路の損傷などの情報に関す

る覚書

総市内集配郵便局間の協力に関す

茂玉野苅平神新三

災害時における南房総市、

南

房

締結された覚書など

5.

南房総市市税などの

収納事務取

扱に関する協定書

援要項

る覚書

高齢者の

在宅福祉サービスの支

嶋谷蝦大澁酒中井萩佐

子紀久枝美輝恵生司子

内尾井村関野間

千倉中学校からのスタート



抽選をする、遠藤市長職務執行者

足早い

. 房総の春を満喫しました。

姉妹大会の関係にあるべ

ル

1

トを歩き、

花畑を眺めながら

海岸ルー が参加し、

トおよび白浜・野島崎灯台

菜の花咲く丸山

· 和

田

め、

全国

ヮ

イカー約5千50

Ŏ 人

財団の大久保さん(左)と実行委員の 石井さん(中央)、酒井さん(右)

ました。

協会やべ

ルギー大使夫妻も参加し

ブランケンベルグウォ

1

キン

髄 寄付金贈呈式が行われました。 送られました。 |移植推進財団へ10万1千100 ありがとう富浦実行委員会から骨 4 月 4 日 骨髄バンクへ寄付 火、 この寄付金は、 南房総市役 所 3 で

販売などで集められました。 イベ 主, ント 富浦宝くじ とみうら元気倶楽部 「ありがとう富浦 (富くじ)

遠藤市長職務執行者から辞令を受けとる

広報課長

田村正義/情報推進課長

嶋田守

▼三芳支所

市町村圏事務組合派遣)

朝倉和利/秘書

宇山高俊/企画政策課主幹(安房郡市広域

野勝美/参事兼企画政策課長

企画部長

第2支団分団長

高山茂則 田中泰夫

(第1分団

(第3分団 (第2分団

川崎幸男 森広幸 金木哲也 (第2分団 (第1分団

(第3分団

青木消防団長

総務部長

防団長へ辞令が交付されました。 第4支団長 第3支団長 第2支団長 副支団長 副支団長 副支団長 副支団長 消防団本部および分団長は次のとおりです 4月1日 遠藤一郎市長職務執行者から、 古内義教/井田 (土)、消防団辞令交付式が行わ 川﨑裕史(富浦地区

第5支団長 副支団長 安田 稔/早戸民夫 鈴木勝一 押元善幸/本橋太一 相川 徹 真田和広/田原晴夫 君塚弘和(三芳地区 安藤俊明/山木 釼持保雄 (富山地区 木村庸一/正木 義明 (千倉地区 (白浜地区)

第1支団分団長 副支団長 川名正敏/鈴木將人 杉本信行(和田地区 関上 繁/青木昭夫

第7支団長

第6支団長

小泉規惠(丸山地区

副支団長

第7支団分団長

御子神博昭 (第4分団 小林昭夫(第5分団)

黒川忠雄 黒川孝久 (第2分団) (第3分団)

佐久間真一 (第4分団

高梨大士 (第4分団)

房総市消防団

須賀仙雄 加藤徹也 (第6分団

第3支団分団長

青木消

神作浩史 (第2分団 (第1分団

第4支団分団長 岩堀良崇 (第3分団

誠 茂 (第2分団) (第1分団

星野正人 小谷新哉 小笠原清 (第5分団) (第4分団

(第3分団)

第5支団分団長

加藤久通 (第2分団) (第1分団

清宮信英 (第3分団)

(第4分団)

実 (第5分団

第6支団分団長 植木

押本 御子神昭則 渡邊富士夫 (第2分団 (第1分団

明(第3分団)

杉本吉孝 (第1分団

植木峰良 房雄/管理課長 田幸夫/建設課主幹兼建設課長補佐

▼水道部

加藤博和/管理課長 水道部長 主幹兼管理課長補佐 吉田多嘉男/参事兼業務課長 宇山章人

会計課長 粕谷新悟

地域事業課長 長 川名一嘉 富山支所長 福原啓夫/参事兼地域総務課 /地域福祉課長 長居俊孝 服部裕子/

川名敏夫/地域事業課長 三芳支所長 吉野充/参事兼地域総務課長 稲葉晃

樹/地域事業課長 早川郁夫/地域事業課 白浜支所長 主幹兼地域事業課長補佐 宇治原洋 荒井光夫/地域福祉課長 髙木栄治/参事兼地域総務課 国府田秀

敏明/富山国保病院事務長 彦/子育て支援課長 吉田勇/高齢者福祉 保健福祉部長 早川清巳/健康増進課長 吉井英明/富浦地域福祉課長 森田純示/参事兼社会福祉 渡邊惠 御子神善

▼生活環境部

博/千倉清掃センター所長 全課長 三浦恒雄/環境保全課主幹(鴨川 倉衛生センター所長 渡辺誠 市南房総市環境衛生組合派遣) 新井文夫/消防防災課長 山田昭/環境保 生活環境部長 近田秀樹/参事兼市民課長 本間利夫/千 實方和

課長 北見和美/農林振興課主幹 農林水産部長 渡辺静夫/参事兼農林振興 夫/水産振興課長 豊崎壽明 尾形三

▼商工観光部

光課長補佐 課長 篠原茂幸/商工観光課主幹兼商工観光商工観光部長 加藤文男/参事兼商工観光 山口幸弘/交流事業課長 宇

山富一 建設部長 ▼建設部 高梨房夫/参事兼建設課長 御子神茂/国土調査課長 能重 吉

大久保清己/管理課

▼富山支所

▼白浜支所

重雄/参事兼総務課長(併)選挙管理委員

岡崎好夫/総務課主幹

大坪照

和田和正/議会担当部長 栗原

渡辺満/税務課長 川崎浩/収納課長(併)

固定資産評価審査委員会事務局長

長谷川毅

雄/行政改革推進室長

関良成/財政課長

▼保健福祉部

▼千倉支所

?/地域福祉課長 安田政光/渡辺高享/参事兼地域総務課

藤井照男

小宮貞夫/参事兼地域総務課

渡辺淳

長 青木加津夫/地域福祉課長 地域事業課長 千倉支所長 丸山支所長 長 高梨政利 ▼丸山支所 /地域事業課長 岩浪治男

地域事業課長 和田支所長 長 福原孝雄 ▼和田支所 鎌田達夫/参事兼地域総務課 /地域福祉課長 水嶋誠二 木下榮一

▼教育委員会

学校給食センター所長 倉総合運動公園所長 加藤登美男 学習課長補佐 酒井和夫/千倉図書館長 本田英人/スポーツ課長 小笠原砂男/千 習課長 鈴木竹男/生涯学習課主幹兼生涯 本橋清一/学校教育課長 青木和詳/千倉 教育次長 原聖一/参事兼教育総務課長 渡辺三雄/生涯学

▼新規採用者

主事 園教諭 山田友紀子/和田中学校用務員裕子/南幼稚園教諭 岡崎裕美/和田幼稚 富浦幼稚園教諭 根本弓子/三芳幼稚園教広/学校教育課主任指導主事 臼井治久/ 友理/千倉清掃センター衛生技能員 臼井郎/千倉清掃センター事務補助員 若王子 平野美和/千倉学校給食センター 望/七浦幼稚園教諭 茅野りか/朝夷幼稚 友和/農林振興課主事 育所調理員 柴田京子/和田保育所保育士 ろみ/健康増進課保健師 篠塚敏博/社会福祉課保護係長 園教諭 佐藤美穂/健田幼稚園教諭 宇山 課主事 高齢者福祉課主事 尾川佳織/和田保育所調理員 生稲恵美/ 総務課主事 佐野あさこ/白浜幼稚園教諭 栗原 忍足真由美/管理課主事 川名恭介/市民課主事 稲葉直之/社会福祉課主幹 岡本哲哉/高齢者福祉 石井周作/建設課 竹本純/富浦保 白井寛太 佐久間ひ 根本基

●富浦町

「3月19日、富浦町を閉じることを宣言する」

富浦町の閉町式が2月26日、とみうら元気倶楽部開催され、関係者約100人が50年の歴史に感謝し、合併で消える町へ惜別しました。



●富山町

富山町の閉町式が2月26日、富山町中央公民館で行われました。

町民約200人が出席し、町旗入場後、国歌を 斉唱し、町旗をたたみ50年の歴史に終止符を 打ちました。



●白浜町

白浜町の閉町式が2月12日にフローラルホールで行われました。白浜音頭や民謡ショー、最後に万歳三唱で幕を閉じました。







●三芳村

万感の思いを込め、三芳村の閉村 式が3月5日、三芳村役場で村民700 人が参加し、大規模に行われました。 青空の下、「ありがとう」「三芳村」 の人文字に村民の熱い思いが込められました。



それぞれの記念誌

●千倉町

花と海と太陽のまち・千倉町の閉町式が2月26日、保健センターで行われました。町旗の降納をもって、51年の歴史に幕を閉じました。



●丸山町

丸山町の閉町式が7町村で 最後の3月9日、丸山町立丸 山中学校と丸山町役場庁舎 前で行われました。町関係 者150人が出席し、カイの木 の記念植樹、町旗降納、町 章取り外しを行い、町の50 年の歴史を閉じました。

●和田町

和田町の閉町式が3月5日、和田町コミュニティセンターで行われました。

町民約200人が参加し、町旗とともに50年にわたる町の歴史に、幕を降ろしました。



誤りでしたので、お詫びして訂正いたします。21頁の歴代議長の中で、花輪常太郎さんは、花輪常次郎さんの(お詫びと訂正)富浦町制施行50周年記念誌「とみうらじまん」

14